

2020 年度事業報告書

一、活動概況

都市生活コミュニティセンター(以下、TCC)の2020年度の活動の概況は以下のとおりでした。

☆コロナ禍の中での運営

人々の行動を厳しく制限すると一旦感染が収束に向かうと見えても、規制を緩めればまた広がるということが繰り返されています。(この議案書作成時点では第3回目の緊急事態宣言が出されています。)

WHO がともかく PCR 検査を徹底するように呼びかけ、感染を低い程度に押さえた国では検査を徹底し感染が分かれば保護隔離するという手法をとったと報告されています。しかし日本では検査を積極的にすることはせず、人々の行動を抑制することで感染を抑えよとの手法に力を入れる中、無症状や症状の低い感染者が多数市中に存在しているとみられ、かつ感染力が強い変異株の割合が高まっているとされ、いつ終わるとも知れない状況が続いています。

このような悪循環の繰り返しから、より強圧的な手段を取ることを市民の側が求める機運さえ出ています。相手はウイルスという自然であり、全てを人間がコントロール出来ると考えるのは無理がありますが、その時点で得られている科学的な知見を十分に活用し、その手段の根拠を丁寧に説明しながら、人々の納得の上で事態へ対処することが求められます。そのような手法が取られている国では為政者への支持が高まっているとされますが、日本はその逆の推移です。社会的な信頼関係が失われ、より強権的な手法が求められるようになるというのは極めて危険な兆候であることは多くの識者が指摘することです。

感染すると重症化しやすいとされる高齢者の生活を支える事業をしている当法人(武庫之荘)事業所では見えないウイルスに感染しないため薄氷を踏むような運営を日々強いられるという厳しい状況が続きました。

家族の面会を制限する、職員や来訪者には手指の消毒や検温を求める、施設内では人が手を触れる場所の消毒を1日に何度も実施する、建物内の換気を徹底する、食事場所での密の発生を抑制するために通常の1階ホールだけでなく、2階、3階にも分散して食事を取ってもらう、食卓などに飛沫遮蔽のためのボードを設置するなど、様々な措置を取りました。

訪問型及び居宅介護支援事業所あしすとでは訪問先のご家族に感染者が発生したことで、業務がより気を抜けない状態になっていたことがあります。あしすと事業所はその事業特性上、利用の減少という苦しい状態にさらされましたが、その部門損益状況を一般の事業所と比較すると最小限の影響に留められたと言えます。様々な感染対策というハード面だけではなく、利用者やその家族との関係の取り方や職員同士の意思疎通というソフト面での努力もあったと自負しています。

幸いにも当事業所全体で(議案書作成時点で)、利用者、職員ともに実際の感染発生との報告は受けていませんが、今後も引き続き感染対策を徹底した運営が求められます。

☆パンセ事業所が新設されて、3年が過ぎました。

特に小規模多機能型居宅介護という新しい形態の事業所は高齢者の自律的な生活を終日、総合的に支えるという意味で従来の個別の機能ごとの事業所を選択して支援を受けるという方法とは違った柔軟な対応が可能になるものです。制度の設計自体がまだまだ模索過程とも言えますが、運営者である私たちにも様々な対応について従来とは違った努力、工夫も求められます。この間、その為の模

索が続いてきたと言えます。

そして、まだまだその力不足を痛感させられています。職員一人一人との面接、あるいは職員全体会議の開催、事業所自己評価の一環として各職員による自己評価など、様々な機会に意識的な意見交換を継続しました。

その中から職員間での利用者の状況の共有や仕事上の連携の取り方、そして職員の介護技能の向上など、様々な課題が見えています。コロナ禍という特殊事情から職員が集まって議論、研修などを実施すること自体が困難になっていた側面もありますが、その方法を工夫し、役職員が一体となって、改善努力を継続していく必要があります。

その為に法人理事会や役職者、事務局がまずは中心的な役割を發揮することが求められています。

☆利用者の看取りを複数させていただいたことも押さえておきたいことです。

私たちのパンセ事業所はサービス付高齢者住宅及び小規模多機能型居宅介護という形態ですが、ご本人やご家族が望む場合は看取りまで引き受けるという方針を取っています。病院ではなく自宅で最後を迎えたいという希望を叶える意味でその延長と位置付けられる当事業所での看取りは意義のあることと考えています。もちろん医師の判断を踏まえてですし、訪問看護師など外部の専門家の関与も含めてですが、複数の方をご家族とともに見送りました。

地域包括支援センターや医療・介護関係者にそのような意味での認知を得ていくことが課題です。

☆毎日の食事の提供

パートナーである生活クラブ生協の食材を出来るだけ活用した手作り料理にこだわってきました。パンセ事業所で過ごしていただく際、食事を摂ることは重要な要素ですが、その満足度は決して低いものではないと自負しています。衛生面、栄養面での基礎を踏まえつつ、利用者個々の喫食能力などに合わせた食事の提供をさらに充実させていく必要があると考えています。

☆法人としての各介護事業所共通課題の確認、取り組み体制の整理

各介護事業所はそれぞれ事業型による固有の課題に取り組んでいますが、法人として共通に取り組むほうが合理的なものもあります。法人としての共通の考え方のもと、共同した取り組み体制の下、進める必要があります。

☆ボランティア部門

当法人ではいつかの拠点を活用した高齢者向け福祉活動を継続的に実施してきましたが、20年度はコロナ禍にあって、その多くを停止せざるを得ませんでした。この活動ではリモート方式には限界があり、コロナ禍が早く落ち着くことが期待されています。

内外の自然災害における各種の支援活動という当法人の設立に係る課題については現在の限定された職員体制の中でどう取り組むのか、現時点では情報連携の面での活動にとどまっていますが今後に向けて整理が必要です。

☆損益状況、事業資金、そして雇用条件

事業形態での違いはあるものの、決して高いとは言えませんが法人全体では一定の事業剰余を残せる運営を継続できています。しかし、事業分野ごとに見ると不均等です。

パンセ事業の開設にあたって必要となった事業資金についてはパートナーである生活クラブ生協都市生活によるバックアップが継続されています。そして、この間の運営状況が良好であるため、順調に借入金の返済も進んでいます。

一方で、介護職員を対象とした処遇改善加算という形で公的な後押しもありますが、介護業界全体として職員の雇用条件はまだまだ低水準にあるとされます。当法人としてこの面での積極的な姿勢

も課題です。事業損益のコントロール力の向上はその面からも重要な課題です。

また、多様な働き方の実現は今日の社会的な要請でもあります。当法人では従来からそのような考え方を採っています。職員の勤務シフトを組む際、固定的な勤務時間の常勤職員を主体とする場合に比べて手間をかけることになるという面もありますが、個人の生き方の選択の反映を受け止める職場運営の実現も課題であると考えています。

二、サービス付き高齢者向け住宅事業

【高齢者向け住宅の管理・運営および経営】

☆入居者数推移

(全 20 室)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
計画(室)	19	20	20	19	20	20	19	20	20	19	20	20
入居者数(室)	20	20	19	20	20	20	20	20	20	19.5	19	19
入居率(%)	100%	100%	100%	95%	100%	100%	100%	100%	100%	97.5%	95%	95%

サービス付き高齢者向け住宅「パンセ武庫之荘」は、常に 10 名以上の予約を抱えた状態が続いており、入居者の入れ替わりを除いては年間を通して満室を維持しました。

年度の第 3 四半期までは、おおむね計画通りの入居率を達成していましたが、第 4 四半期においては新規入居者の決定に手間取り、計画をやや下回りました。今後、新入居者決定の手順で改善が求められます。

☆利用者への食事の提供—厨房の運営

- ・朝、昼、晩に手作りで料理を提供するという考え方を取っています。また、生活クラブ生協の食材を出来るだけ活用するという考え方を当初から持っていますが、週に一回の注文・配達であるという制約や価格条件からこの間の推移ではその割合が下がり気味であることが課題として残りました。一般店からの購入が拡大したと言えますが、そのためにかえって人件費コストが上昇しているという側面もあります。生活クラブ生協の食材をどの程度の割合にするのか、特にどんな分野でその食材にこだわるのか、基本に立ち返った検討が必要です。
- ・厨房勤務者全員で毎月、会議を開催し、運営方法などを巡って意思疎通を図りました。曜日によって出勤者が変わるという勤務実態から出席率が 7 割に留まると課題が残りました。
- ・出食するメニュー献立は厨房メンバー自身が協議して決めるという方式を取っています。利用者との接点にいるメンバーが直接、協議し決めることで実際の利用の様子を踏まえた献立作成がなされていると言えます。
- ・食品衛生、栄養、調理技術などでしっかりとした職員研修が必要です。食品衛生の面では HACCP の導入も課題です。
- ・事業損益面では従来から課題であった赤字幅が拡大しています。一つの事業部門として、損益のコントロール力をつけていくことが課題です。

三、介護保険事業

1. 小規模多機能型居宅介護の運営

【介護保険法に基づく小規模多機能型居宅介護及び介護予防小規模多機能型居宅介護】

1) 利用者数推移

(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録定員	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
計画	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
登録者数	24	24	24	24	24	24	23	22	22	23	21	22

小規模多機能型居宅介護事業「パンセ武庫之荘ホーム」は、登録利用者は年度平均で 23.1 人、最大で 24 人でした。

2020 年度はパンセ内にて4名の方を看取りました。亡くなった方を含め年度の後半に登録解除が集中し、平均要介護度も下がったため、登録者数、介護報酬ともに年度後半においては計画を達成できませんでした。新規利用者の登録を迅速に行うことが大きな課題となっています。地域の諸機関との情報連携が急務です。

2) 行事・イベント一覧

・新型コロナ感染予防のため中止しました。

3) 運営推進会議の開催

利用者、利用者の家族、地域住民の方々に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとするための協議機関として、運営推進会議を開いています。メンバーは利用者、地域包括支援センター、地元自治会、地域の介護有識者と、TCC の小規模多機能管理者、サービス付き高齢者向け住宅管理者、事務局です。新型コロナ感染予防のため 1 回の開催にとどまりました。

開催日：10月22日(木)

2. 都市生活ヘルパーステーションあしすと武庫之荘の運営

【介護保険法に基づく訪問介護事業、介護予防訪問介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業、障害者自立支援法に基づく障害者支援サービス事業】

訪問	訪問介護				総合事業サービス				訪問介護合計			
	計画	実績	達成率	前年度	計画	実績	達成率	前年度	計画	実績	達成率	前年度
時間数(時間)	3,780	4,027	107%	3,924	1,620	986	61%	1,729	5,400	5,013	93%	5,653
利用高(万円)	1,455	1,572	108%	1,518	661	439	66%	701	2,117	2,012	95%	2,219
居宅	介護				予防				居宅介護支援合計			
	計画	実績	達成率	前年度	計画	実績	達成率	前年度	計画	実績	達成率	前年度
利用件数(件)	390	404	104%	412	210	166	79%	298	600	570	95%	710
利用高(万円)	497				87				585	582	99%	651

コロナ禍のため、訪問介護事業においては従来の利用者が一時的に利用を控える事例が複数発生し、年度後半は時間数・利用高ともに計画を下回りましたが、他の事業所の事例との対比ではなんとか持ち堪えたとも言えます。スタッフへの研修はオンラインも活用しながら複数回実施し、事業所としてのまとまりを維持する為の取り組みを継続しました。

3. 介護保険等の高齢者福祉事業に従事する実務者研修

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体のためのリーダー養成・講習会の開催】

・あしすと武庫之荘

コロナ禍のため、一般にも参加を呼びかける身体介護勉強会は実施できませんでした。

・腰痛予防の取り組み

他団体主催の研修に参加しましたが、あしすと武庫之荘主催の外部向け研修等は同じく実施できませんでした。

・感染症対策

内部向けの取り組みとして、感染症対策委員会を設置し各事業所から委員を選んで計 4 回委員会を開催しました。

四、ボランティア部門

1. 災害救援

【自然災害の被災者の生活の救援・復興支援のための救援物資調達・配送、募金活動】

内外の自然災害における応急救援や生活支援、およびそのために必要な調査、連絡、人員派遣等従来から連携して活動している団体との協力関係を維持しています。

2. 地域福祉

1. ふれあい喫茶

【阪神・淡路大震災の被災住民の自主的復興活動への支援のための復興住宅訪問・茶話会の開催】

ボランティアグループすまいるが運営を担っています。

神戸市中央区のポートアイランド UR 団地 67 棟集会所にて「すまいるサロン」を行っています。コロナ禍の為、神戸女子大学の教員・学生は不参加となってしまいました。認知症とその家族の方々にも来て頂けるようなふれあいの場を目指していますが進める事がなかなか出来ませんでした。

・「すまいるサロン」 毎月第一金曜日

開催場所	開催回数	活動者数(スタッフ)	参加人数
ポートアイランド UR 団地 67 棟集会所	8	24+1(子)	25

トライやる・ウィークはコロナ禍の為、取り止めとなりました。

「1. 17 と 3.11 をつなぐ会」をハーモニーと共にオンラインで行いました。

・東雲診療所「しののめ喫茶」 毎月最終金曜日 10:30～12:00

開催場所	開催回数	活動者数(スタッフ)	参加人数
ろっこう医療生協東雲診療所	0	0	0

コロナ禍の為、全て中止となりました。

2. ミュージックセラピー

【ミュージックセラピーのセッション実施事業およびミュージックセラピスト養成事業】

1) ミュージックセラピーのセッション実施事業

ミュージックセラピーグループ・ハーモニーが、「～届けよう ふれあう心 あふれる笑顔 想いは一つハーモニーセッション～」を年間テーマに活動を実施しました。

またハーモニーに対しての依頼セッションを 6 ヶ所 38 回行いました。

・会員数 62 人

・活動施設: 園田苑、土曜稲葉会、わかば昼食会、松の園、カトレアの園(尼崎)、ケアポート神戸、かたらいクラブ、1.17 と 3.11 をつなぐ会(神戸市中央区)、さつき園、神戸老健、あじさい(神戸市北区)、KOBÉ 須磨きらくえん、特養・デイサービス(神戸市須磨区)、舞子台ホーム、ドマーニ神戸(神戸市垂水区)、むつみ会(明石市)、計 16 施設のうち 6 施設(松の園、カトレアの園、ケアポート神戸、かたらいクラブ、むつみ会、

1.17と3.11をつなぐ会)

・活動回数:38回、年間活動者数:(延べ)136人、年間対象者数:(延べ)383人 ・その他コロナ禍で
休止

2) ミュージックセラピーのセッションを担うボランティアの養成事業

6月に開講予定でしたが、コロナ禍で中止としました。

3) 総会

5月15日(日) コロナ禍で書面議決としました。

※コロナ禍の為対面での活動は行えず、グループLINEでの近況報告会やzoomミーティングで運営委員会や神戸女子大学での音楽療法講座・「1.17と3.11をつなぐ会」・「誕生日セッション」などオンラインでの新たな取組みに挑戦し実行しました。

3. セルフケアの取り組み

シャンシャンの会

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

2012年度の熟年セミナーの修了生を中心にスタートした「シャンシャンの会」活動を継続しています。

2020年はコロナ禍のため4月・5月・6月は休みしました。

開催方法を工夫し、7月21日から7月、9月、10月、11月、12月と月2回のペースで開催しました。

21年1月、2月はまた休止、そして3月、4月と開催出来ました。

コロナ禍に振り回された一年でした。

五、情報提供に関わる活動

【情報提供】

機関紙「News」(A4版2ページ)を2回発行しました。また引き続き本法人のホームページを利用した情報発信を行っています。

六、他団体との連携

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

市民活動団体や高齢者福祉の研究会と様々な連携・協力関係を築いています。2020年度は以下のネットワーク、団体に参画しました。

▽NPO 法人ゆうあいサロン(監事=池田)

▽阪神医療生活協同組合(監事=池田)

▽全国地域包括支援システム連絡会

七、財政状況

・2020年度は新型コロナ対応という予測困難な費用も高まりましたが、行政からの給付や助成制度を利用することも出来、ぎりぎりの黒字を維持しました。

・サービス付き高齢者向け住宅「パンセ武庫之荘」は、常に予約者を抱えており、入居者の入れ替わりはあるものの安定した黒字が続いています。

- ・小規模多機能型居宅介護事業「パンセ武庫之荘ホーム」は、年度後半に利用者の入れ替わりと平均要介護度数の変動が影響してやや苦戦しましたが、前半の安定した運営が年度全体を支える結果となりました。
- ・あしすとは直接費段階で収支均衡ですが、本部経費（間接費）を負担するのは困難な状況です。厨房は直接費段階で赤字となっています。
- ・それぞれ毎に損益の状況を月々点検し、そのコントロール力の必要性理解を職員組織の中で醸成していく必要があります。
- ・生活クラブ生活協同組合都市生活（以下、生活クラブ都市生活）から2,000万円を借り入れた金銭消費貸借契約（2016年締結）について、2019年1月から開始した返済はその後順調に遂行しており、年度末時点で15,451,007円の残高となっています（前年度末から2,597,651円減）。
- ・運転資金の確保のため2019年12月に生活クラブ都市生活から借り入れた600万円については、20年12月に返却し、改めて300万円を一年の期間で借り入れました。
- ・万一の支出に備える預かり金として2018年4月に個人（理事・事務局5人）から預かった700万円については、2018年度・19年度・20年度に各100万円を返却し、年度末の預かり額は400万円（2人）となりました。

八、組織

1. 運営組織

1) 総会

・2020年度通常総会

日時 2020年6月20日（土）10:32～11:38

会場 武庫之荘北会館2階（兵庫県尼崎市）

出席者 正会員34人（うち書面議決書27人） ※正会員総数36人

審議事項 第1号議案 2019年度事業報告及び活動計算承認の件（議決総数33・賛成33・反対0・保留0で可決）

第2号議案 2020年度事業計画及び活動予算承認の件（議決総数33・賛成33・反対0・保留0で可決）

第3号議案 福田理事退職慰労金支給の件（議決総数32・賛成32・反対0・保留0で可決）

2) 理事会

	開催日	主な審議事項、協議事項、決定事項	出席者
第1回	2020年4月18日	2020年度総会の開催について	理事5名、事務局1名
第2回	2020年5月16日	2020年度総会議案、福田理事退職慰労金、職員給与と改定について	理事5名、事務局1名
第3回	2020年6月20日	2020年度総会について	理事6名、事務局1名
第4回	2020年7月18日	福祉機器購入について	理事5名、事務局1名
第5回	2020年8月15日	福祉機器購入について	理事5名、事務局1名
第6回	2020年9月19日	パンセ武庫之荘組織的整備、福祉機器購入について	理事5名、事務局1名
第7回	2020年10月17日	パンセ武庫之荘組織的整備、機関紙発行について	理事5名、事務局1名 オブザーバー1名
第8回	2020年11月14日	短期借入金返済、パンセ武庫之荘組織的整備について	理事5名、事務局1名 オブザーバー1名

第9回	2020年12月19日	就業規則改訂、理事人事について	理事6名、事務局1名 オブザーバー2名
第10回	2021年1月16日	各事業報告	理事5名、事務局1名 オブザーバー1名
第11回	2021年2月20日	2021年度の理事体制、預り金返却について	理事5名、事務局1名 オブザーバー2名
第12回	2021年3月20日	2021年度の理事体制、2021年度予算、介護職員処遇改善、ハラスメント防止規定について	理事6名、事務局1名 オブザーバー2名

会場は、パンセ武庫之荘(4~5月)、武庫之荘北会館(6~3月)

3)武庫之荘会議

武庫之荘事業所の運営を円滑に行うための事業所管理者による連絡会議を10回行いました。

構成メンバーは、パンセ武庫之荘ホーム小規模多機能管理者、パンセ武庫之荘サ高住管理者、あしすと居宅・訪問武庫之荘管理者、事務局、オブザーバーです。

4)ボランティア部会

都市生活コミュニティセンターのボランティア活動の発展強化のための議論と企画を行うための会議はコロナ禍の影響で開催出来ませんでした。

2. 会員

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	増減
正/個人	35	35	34	32	29	30	35	34	31	31	29	-2
正/団体	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	±0
賛助/個人	227	198	189	191	179	186	191	183	180	163	154	-9
賛助/団体	12	8	5	3	4	4	4	3	3	3	3	±0
合計	279	245	232	230	216	224	234	224	218	201	190	-11

3. 役員

	氏名	他の団体の兼務状況	当法人における経歴
理事長	林 佳子		'11.7 理事 '11.7 理事長
副理事長	佐々木 京子		'03.11 理事 '07.7 理事長兼務介護福祉事業担当部長 '11.7 副理事長兼務介護福祉事業担当部長
理事	池田 啓一	NPO 法人ゆうあいサロン監事 阪神医療生活協同組合監事	'01.8 理事 '01.8 理事兼務事務局長(～'09.3) '09.4 理事兼務ソーシャルコート神戸北管理者(～'16.3)
理事	岡部 眞紀子	ボランティアグループすまいる代表 ミュージックセラピーグループハーモニー代表	'05.7 理事
理事	角田 学	生活クラブ生活協同組合都市生活専務理事	'01.8 理事
理事	菊田 宏子	生活クラブ生活協同組合都市生活常任理事	'19.6 理事
監事	石川 雅可年	生活協同組合エスコープ大阪専務理事	'08.7 理事(～'17.6) '17.6 監事
監事	王隠堂 政見	農事生産法人有限会社王隠堂農園代表	'02.6 監事

4. 事務局

1) 事務局体制

事務局責任者	水田 隆三	
組織改革特任担当	寺嶋 英介('20.8～)	
事務委託	松井 一郎	

2) 事務所所在地

事務所	兵庫県尼崎市武庫之荘本町一丁目 18-26
-----	-----------------------

特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター

活動計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	697,000		697,000
賛助会員受取会費	488,500		488,500
入会金	1,500		1,500
2. 受取寄附金			
受取寄附金	7,000		7,000
3. 受取助成金等			
受取助成金	295,750		295,750
受取補助金	1,097,000		1,097,000
4. 事業収益			
訪問介護事業収益	20,061,472		20,061,472
居宅介護支援事業収益	5,842,079		5,842,079
小規模多機能型居宅介護事業収益	60,826,250		60,826,250
高齢者住宅事業収益	36,957,219		36,957,219
情報発信力強化支援事業収益	171,092		171,092
5. その他収益			
受取利息	93		93
雑収入	146,868		146,868
経常収益計	126,591,823		126,591,823
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	5,360,000		5,360,000
給料手当	66,013,487		66,013,487
法定福利費	5,923,148		5,923,148
退職給付費用	998,680		998,680
通勤費	874,179		874,179
福利厚生費	583,196		583,196
人件費計	79,752,690		79,752,690
(2) その他経費			
売上原価	4,194,633		4,194,633
業務委託費	995,600		995,600
諸謝金	1,964		1,964
会議費	910		910
旅費交通費	104,575		104,575
車両費	224,371		224,371
通信運搬費	619,834		619,834
消耗品費	2,357,964		2,357,964
消耗什器備品費	287,768		287,768
修繕費	304,555		304,555
水道光熱費	2,822,338		2,822,338
地代家賃	18,742,608		18,742,608
賃借料	1,106,376		1,106,376
減価償却費	124,476		124,476
保険料	377,931		377,931
諸会費	12,000		12,000
租税公課	22,900		22,900
研修費	32,111		32,111
貸倒引当金繰入	▲ 16,982		▲ 16,982
支払手数料	1,937,721	91	1,937,812
新聞図書費	48,325		48,325
広告宣伝費	455,600		455,600
雑費	566,081		566,081
支払利息	257,101		257,101
その他経費計	35,580,760	91	35,580,851
事業費計	115,333,450	91	115,333,541

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	4,620,512		4,620,512
法定福利費	742,604		742,604
退職給付費用	1,904,000		1,904,000
通勤費	146,142		146,142
福利厚生費	143,516		143,516
人件費計	7,556,774		7,556,774
(2) その他経費			
業務委託費	518,182		518,182
会議費	5,587		5,587
旅費交通費	121,548		121,548
車両費	2,331		2,331
通信運搬費	113,308		113,308
消耗品費	175,009		175,009
保険料	434,629		434,629
租税公課	1,278,372		1,278,372
支払手数料	128,961		128,961
交際費	4,329		4,329
雑損失	11,611		11,611
その他経費計	2,793,867		2,793,867
管理費計	10,350,641		10,350,641
経常費用計	125,684,091	91	125,684,182
当期経常増減額	907,732	▲ 91	907,641
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			
Ⅳ 経常外費用			
1. 固定資産除却損	1		1
経常外費用計	1		1
経理区分振替額	▲ 91	91	
税引前当期正味財産増減額	907,640		907,640
法人税、住民税及び事業税	82,013		82,013
当期正味財産増減額	825,627		825,627
前期繰越正味財産額	▲ 8,703,760		▲ 8,703,760
次期繰越債務超過額	▲ 7,878,133		▲ 7,878,133

貸借対照表
2021年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,159,853		
未収金	14,625,778		
棚卸資産	147,230		
前払金	2,048,071		
立替金	4,400		
貸倒引当金	▲ 76,996		
流動資産合計		23,908,336	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物付属設備	478,762		
什器備品	536,938		
有形固定資産計	1,015,700		
(2)投資その他の資産			
長期前払費用	3,184,956		
投資その他の資産計	3,184,956		
固定資産合計		4,200,656	
資産合計			28,108,992
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	3,000,000		
買掛金	212,901		
未払金	9,077,557		
前受金	324,805		
預り金	7,920,855		
流動負債合計		20,536,118	
2. 固定負債			
長期借入金	15,451,007		
固定負債合計		15,451,007	
負債合計			35,987,125
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		▲ 8,703,760	
当期正味財産増減額		825,627	
正味財産合計			▲ 7,878,133
負債及び正味財産合計			28,108,992

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日制定。2017年12月12日最終改正。NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は個別法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。
ただし、有形固定資産のうち、定額法の適用が強制される建物付属設備は定額法で償却しています。
また、当期末で無形固定資産はありません。
- (3) 引当金の計上基準
・貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、税法上の収益事業に係る債権について、法人税法の繰入限度額相当額を計上しています。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税は税抜経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

2020年4月1日～2021年3月31日

(単位:円)

科目	特定非営利活動にかかる事業			その他の事業 企業等対象印刷 ・ホームページ 事業	事業部門計	管理運営部門	合計
	介護保険事業	高齢者向け住宅 事業	その他特定非営 利事業				
I 経常収益							
1. 受取会費						697,000	697,000
正会員受取会費						488,500	488,500
賛助会員受取会費						1,500	1,500
入会金							
2. 受取寄付金						7,000	7,000
受取寄付金							
3. 受取助成金等							
受取助成金	295,750				295,750		295,750
受取補助金	908,000	189,000			1,097,000		1,097,000
4. 事業収益							
訪問介護事業収益	20,061,472				20,061,472		20,061,472
居宅介護支援事業収益	5,842,079				5,842,079		5,842,079
小規模多機能型居宅介護事業収益	60,826,250				60,826,250		60,826,250
高齢者向け住宅事業収益		36,957,219			36,957,219		36,957,219
情報発信力強化支援事業収益			171,092		171,092		171,092
5. その他収益							
受取利息	89				89	4	93
雑収入	86,631	19,615			106,246	40,622	146,868
経常収益計	88,020,271	37,165,834	171,092		125,357,197	1,234,626	126,591,823
II 経常費用							
(1) 人件費							
役員報酬	4,260,000	1,100,000			5,360,000		5,360,000
給料手当	56,292,248	9,721,239			66,013,487		66,013,487
法定福利費	5,253,565	669,583			5,923,148		5,923,148
退職給付費用	902,680	96,000			998,680		998,680
通勤費	529,241	344,938			874,179		874,179
福利厚生費	420,665	162,531			583,196		583,196
人件費計	67,658,399	12,094,291			79,752,690		79,752,690
(2) その他経費							
売上原価		4,194,633			4,194,633		4,194,633
業務委託費		995,600			995,600		995,600
諸謝金	1,964				1,964		1,964
会議費	910				910		910
旅費交通費	104,575				104,575		104,575
車両費	221,132	3,239			224,371		224,371
通信運搬費	402,511	217,323			619,834		619,834
消耗備品費	117,830	169,938			287,768		287,768
消耗品費	1,607,540	750,424			2,357,964		2,357,964
修繕費	455	304,100			304,555		304,555
水道光熱費	1,186,589	1,635,749			2,822,338		2,822,338
地代家賃	5,263,644	13,478,964			18,742,608		18,742,608
貸借料	577,459	528,917			1,106,376		1,106,376
減価償却費	124,476				124,476		124,476
保険料	284,531	93,400			377,931		377,931
諸会費	12,000				12,000		12,000
租税公課	22,900				22,900		22,900
研修費	32,111				32,111		32,111
貸倒引当金繰入	▲ 16,982				▲ 16,982		▲ 16,982
支払手数料	1,226,790	710,931		91	1,937,812		1,937,812
新聞図書費	14,683	33,642			48,325		48,325
広告宣伝費	452,000	3,600			455,600		455,600
雑費	2,600	563,481			566,081		566,081
支払利息		257,101			257,101		257,101
その他経費計	11,639,718	23,941,042		91	35,580,851		35,580,851
事業費計	79,298,117	36,035,333		91	115,333,541		115,333,541
管理費配賦	7,196,881	3,038,823	13,989		10,249,693	100,948	10,350,641
経常費用計	86,494,998	39,074,156	13,989	91	125,583,234	100,948	125,684,182
当期経常剰余増減額	1,525,273	▲ 1,908,322	157,103	▲ 91	▲ 226,037	1,133,678	907,641

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備		481,450		481,450	2,688	478,762
車両運搬具	651,010		651,010			
什器備品	385,600	502,273		887,873	350,935	536,938
投資その他の資産						
長期前払費用	2,808,988	375,968		3,184,956		3,184,956
合計	3,845,598	1,359,691	651,010	4,554,279	353,623	4,200,656

4. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金				
生活クラブ都市生活	6,000,000	3,000,000	6,000,000	3,000,000
長期借入金				
生活クラブ都市生活	18,048,658		2,597,651	15,451,007
合計	24,048,658	3,000,000	8,597,651	18,451,007

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(貸借対照表)			
未払金	9,077,557	2,000	
預り金	7,920,855	4,000,000	
貸借対照表計	16,998,412	4,002,000	

6. その他NPO法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

管理費は各事業ごとに、当該事業の経常収益額の経常収益合計額に対する割合で配賦しています。

財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター

科目・摘要	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 本部 手元有高	193,106		
普通預金 三井住友銀行西宮支店 2口座	5,772,081		
通常貯金 西宮駅前郵便局	331,425		
振替口座 西宮駅前郵便局	863,241		
未収金 兵庫県国民健康保険団体連合会	10,817,478		
未収金 尼崎市 武庫東地域包括支援センター 他3件	124,450		
未収金 居宅介護サービス等利用者 24名	154,817		
未収金 小規模多機能居宅介護サービス利用者 28名	1,822,132		
未収金 パンセ武庫之荘食事代他 19名	1,706,901		
棚卸資産 パンセ武庫之荘食事サービス原材料 347品	147,230		
前払金 西村元一 パンセ武庫之荘サブリース料	1,582,110		
前払金 兵庫労働局	465,961		
立替金 稲村和美事務所 ドメイン料	4,400		
貸倒引当金	▲ 76,996		
流動資産合計		23,908,336	
2 固定資産			
建物付属設備 宿泊室換気扇機器	478,762		
什器備品 介護用リフト 2台	536,938		
長期前払費用 常勤役員生命保険	3,184,956		
固定資産合計		4,200,656	
資産合計			28,108,992
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金 生活クラブ都市生活	3,000,000		
買掛金 生活クラブ都市生活 他2件	212,901		
未払金 小規模多機能ホームヘルパー給与	4,433,621		
未払金 あしすと武庫之荘ケアマネ給与	483,404		
未払金 あしすと武庫之荘居宅介護スタッフ給与	1,133,804		
未払金 サービス付高齢者向け住宅スタッフ給与	900,244		
未払金 本部スタッフ給与	413,611		
未払金 佐々木京子 役員報酬等	200,240		
未払金 非常勤役員交通費	2,000		
未払金 消費税	293,300		
未払金 社会保険料	493,382		
未払金 法人県民税	22,000		
未払金 法人市民税	60,000		
未払金 関西電力㈱ 他2件 水道光熱費3月分	357,248		
未払金 ㈱双葉化学商会 他11件 その他諸経費3月分	284,703		
前受金 パンセ武庫之荘入居者 3件 家賃4月分	324,805		
預り金 パンセ武庫之荘敷金 20件	3,731,700		
預り金 役員	4,000,000		
預り金 ワーカーズ資金	13,933		
預り金 源泉所得税	83,452		
預り金 市県民税	86,100		
預り金 震災10年市民検証研究会	5,670		
流動負債合計		20,536,118	
2 固定負債			
長期借入金 生活クラブ都市生活	15,451,007		
固定負債合計		15,451,007	
負債合計			35,987,125
債務超過額			▲ 7,878,133